

検査結果 説明書

検査結果を判断する上での注意

成人の基準範囲ですので、小児はあてはまらないものがあります。
検査は、病気を正確に判断したり、早期発見や発病予防に重要です。
ご理解の上、採血にご協力をお願いします。
検査内容の詳しい説明や下記に記載されていない検査項目の説明は、直接主治
医におたずね下さい。



春日井市民病院 臨床検査技術室

生化学検査・感染症検査説明書

報告書検査名	日本語名	基準値(成人)	単位	検査内容説明
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	13~30	U/L	肝機能の一般的な検査です。肝臓に異常があると上昇します。ASTは、肝臓の他に心筋や骨格筋などの細胞にも多く含まれるため、その臓器に異常がある時にも上昇します。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	男性 10~42 女性 7~23	U/L	
LDH	乳酸脱水素酵素	124~222	U/L	すべての臓器の細胞に含まれるため、どの臓器に異常があっても上昇します。
ALP	アルカリホスファターゼ	38~113	U/L	胆汁の流れや肝機能および骨の代謝に異常があると上昇します。
CK	クレアチンキナーゼ	男性 59~248 女性 41~153	U/L	筋肉・心臓・脳の細胞に多く含まれるため、筋肉や心臓に異常があると上昇します。
CK-MB	クレアチンキナーゼアイソザイムMB	6以下	%	上記のCKのうち心筋由来のものです。CKが高値の時、急性心筋梗塞の指標となります。
AMY	アミラーゼ	44~132	U/L	膵臓や唾液腺に炎症があると上昇します。
ChE	コリンエステラーゼ	男性 240~486 女性 201~421	U/L	肝臓で合成されるため、肝臓が障害を受けると低値になります。
γ-GTP	γグルタミルトランスペプチダーゼ	男性 13~64 女性 9~32	U/L	アルコール・薬剤などによる肝障害や脂肪肝によって上昇します。
D-Bil	直接ビリルビン	0.0~0.3	mg/dL	黄疸のもとになるビリルビンの濃度で、肝臓・胆のう・胆管・膵臓などに異常があると上昇します。
T-Bil	総ビリルビン	0.4~1.5	mg/dL	
BUN	尿素窒素	8~20	mg/dL	最も代表的な腎機能検査です。腎臓での排泄機能に異常があると上昇します。
Cre	クレアチニン	男性 0.65~1.07 女性 0.46~0.79	mg/dL	
Ca	カルシウム	8.8~10.1	mg/dL	副甲状腺や骨の病気、腎不全などで異常値となります。
P	無機リン	2.7~4.6	mg/dL	カルシウムの代謝と密接な関係があり、腎機能、内分泌異常を調べます。
Mg	マグネシウム	1.7~2.6	mg/dL	腎臓の働きや腸の吸収不全がわかります。
Na	ナトリウム	138~145	mEq/L	電解質と呼ばれています。塩はナトリウムとクロールからできています。いずれも口から摂取されおもに尿から排泄されます。摂取不足・腎臓障害・ホルモン異常などで異常値となります。
K	カリウム	3.6~4.8	mEq/L	
Cl	クロール	101~108	mEq/L	
亜鉛	亜鉛	80~130	μg/dL	生命維持に不可欠な微量元素の1つです。発育遅延、味覚、嗅覚異常などで低値を示します。
TP	総蛋白	6.6~8.1	g/dL	血液中の蛋白質は全身の栄養状態を反映し、感染から体を守る働きにも関与します。栄養障害・肝疾患・腎疾患などで異常値となります。
Alb	アルブミン	4.1~5.1	g/dL	
プレアルブミン	プレアルブミン	22~40	mg/dL	アルブミンより早く全身の栄養状態の変化がわかります。
T-CHO	総コレステロール	142~248	mg/dL	細胞膜の構成成分で、血管の強化・維持といった役割を果たします。しかし、多すぎると動脈硬化などの原因となります。
TG	中性脂肪	男性 40~234 女性 30~117	mg/dL	体内でエネルギーとして使われ、残りは皮下脂肪として蓄えられます。
HDL-C	HDLコレステロール	男性 38~90 女性 48~103	mg/dL	血管壁についたコレステロールを取り除く善玉コレステロールです。低いと動脈硬化を起こしやすくなります。
LDL-C	LDLコレステロール	65~163	mg/dL	血管に酸化コレステロールを運び動脈硬化を促進するため悪玉コレステロールと呼ばれています。
UA	尿酸	男性 3.7~7.8 女性 2.6~5.5	mg/dL	おもに痛風の診断のための検査です。

報告書検査名	日本語名	基準値(成人)	単位	検査内容説明
血清浸透圧	血清浸透圧	275～290	mOsm/Kg	体液(血清)の濃さを調べます。
Fe	血清鉄	40～188	μg/dL	鉄は赤血球を構成する重要な成分です。鉄が不足すると貧血になります。
UIBC	不飽和鉄結合能	男性 173～263 女性 199～277	μg/dL	血清鉄と同時に測定することで、貧血などの鉄代謝異常を調べます。
フェリチン	フェリチン	男性 20～250 女性 10～100	ng/mL	鉄と結合している蛋白で貧血の種類がわかります。
シスタチンC	シスタチンC	0.59～1.03	mg/L	腎臓での排泄機能に異常があると上昇します。
eGFR	推算糸球体濾過量	90以上	mL/min/1.73m ²	腎臓にどれくらいの老廃物を尿に排出できる能力があるかを調べる検査です。
インスリン	インスリン	3.0～18.0	μU/mL	膵臓から分泌されるホルモンで血糖値を下げる働きをします。不足すると血糖値が上昇します。
アンモニア	アンモニア	38～70	μg/dL	肝臓でのアンモニア処理能力が低下すると上昇します。
ケトン体	ケトン体	0～76	μmol/L	飢餓、下痢、嘔吐、糖尿病などで脂肪や筋肉が分解されると上昇します。
乳酸	乳酸	5.0～20.0	mg/dL	ショック・心不全・貧血により組織の酸素不足が起こった時や糖尿病などの代謝性疾患で増加します。
血糖	血糖	73～109	mg/dL	血液中にあるブドウ糖をいいます。糖尿病の診断に重要です。
HbA1C	ヘモグロビンA1C	4.9～6.0	%	1～2ヶ月前の平均的な血糖値を反映します。
CRP	C反応性蛋白	0.14以下	mg/dL	細菌感染をはじめ体内に炎症があると上昇します。
RF定量	リウマチ因子定量	15以下	IU/mL	関節リウマチの診断や治療効果を見るため検査します。
MMP-3	マトリックス メタロプロテイナーゼ-3	男性36.9～121.0 女性 17.3～59.7	ng/mL	関節リウマチ(RA)の疾患活動性の評価、関節破壊の予後を予測します。
IgG定量	免疫グロブリンG	861～1747	mg/dL	免疫グロブリンは抗原の刺激を受けた細胞が産生するタンパク成分です。感染症、腫瘍、自己免疫性疾患などで検査します。
IgA定量	免疫グロブリンA	93～393	mg/dL	
IgM定量	免疫グロブリンM	男性 33～183 女性 50～269	mg/dL	
C3	補体第3成分	73～138	mg/dL	タンパク質の一種で細菌などの感染防止や炎症反応に重要な働きをします。
C4	補体第4成分	11～31	mg/dL	
F-T3	遊離トリヨードサイロキシン	1.68～3.67	pg/mL	甲状腺機能異常の診断や治療効果を見るため検査します。
F-T4	遊離サイロキシン	0.78～2.11	ng/dL	
TSH	甲状腺刺激ホルモン	0.61～4.23	μU/mL	下垂体から分泌されるホルモンで甲状腺ホルモンの分泌を促します。
TRAb	TSHレセプター抗体	3.1未満	IU/L	バセドウ病の診断または病態把握を目的として検査します。
α-FP	α-フェトプロテイン	20.0以下	ng/mL	肝臓などの腫瘍マーカーで診断や経過観察のため検査します。
CEA	CEA	5.0以下	ng/mL	消化器、呼吸器、乳腺などの腫瘍マーカーで診断や経過観察のため検査します。
CA19-9	CA19-9	37.0以下	U/mL	膵臓と胆道系などの腫瘍マーカーで診断や経過観察のため検査します。
CA15-3	CA15-3	28.0以下	U/mL	おもに乳腺、卵巣などの腫瘍マーカーで診断や経過観察のため検査します。
CA125	CA125	35.0以下	U/mL	おもに卵巣などの腫瘍マーカーで診断や経過観察のため検査します。
前立腺特異抗原/PSA	前立腺特異抗原	4.000以下	ng/mL	前立腺の腫瘍マーカーで診断や経過観察のため検査します。
SCC抗原	扁平上皮癌関連抗原	0.0～1.5	ng/mL	肺・子宮頸部・頭頸部などの扁平上皮の腫瘍マーカーで、診断や経過観察のために検査します。
PIVKA-II	PIVKA-II	40.0以下	mAU/mL	肝臓のマーカーで診断や経過観察のため検査します。
コルチゾール	コルチゾール	3.0～19.4	μg/dL	糖質代謝に関連するホルモンの一つで、下垂体や副腎機能異常を疑う時に検査します。
HCV抗体	C型肝炎ウイルス抗体	(-)		C型肝炎ウイルスの感染の有無を調べます。
HBs抗体精密	B型肝炎ウイルス抗体	(-)		B型肝炎ウイルスの過去の感染やウイルス感染防御抗体の有無を調べます。
梅毒定性(TP抗体)	梅毒トレポネーマ抗体	(-)		梅毒検査の一つで、病原体である梅毒トレポネーマの感染の有無を調べます。
梅毒定性(STS)	脂質抗原試験	(-)		梅毒検査の一つで、早期の感染を調べます。梅毒以外の疾患でも陽性となることがあります。
HIV抗体	ヒト免疫不全ウイルス抗体	(-)		ヒト免疫不全ウイルスの感染の有無を調べます。陽性の場合は確認検査が必要です。
HTLV-I抗体	成人T細胞白血病ウイルス抗体	(-)		ATL(成人T細胞白血病)の原因となるウイルスの感染の有無を調べます。
HBc抗体	HBc抗体	(-)		B型肝炎ウイルスの過去の感染や持続感染状態を調べます。

報告書検査名	日本語名	基準値(成人)	単位	検査内容説明
HBs抗原定量	B型肝炎ウイルス抗原	(-)		B型肝炎ウイルスの感染の有無やその量を調べます。
HA-M抗体	A型肝炎ウイルス抗体-IgM	(-)		A型肝炎ウイルスの感染の有無を調べます。
β -Dグルカン	β -Dグルカン	11.0以下	pg/mL	真菌による感染の有無を調べます。
PCT	プロカルシトニン	0.05未満	ng/mL	細菌性の敗血症かどうかの診断や重症度の判定補助のために検査します。
KL-6	シアル化糖鎖抗原KL-6	500以下	U/mL	間質性肺炎群の診断補助や経過観察のために検査します。
血中HCG定量	血中ヒト絨毛性ゴナドトロピン定量	2.7以下	mIU/mL	妊娠の早期確認や流産・子宮外妊娠・絨毛性疾患の診断や治療効果の判定のため検査します。
BNP	脳性ナトリウム利尿ペプチド	18.4以下	pg/mL	心臓に負担がかかった時、心臓から分泌されるホルモンです。心筋梗塞・心不全の診断や経過観察のために検査します。
心筋トロポニンI	心筋トロポニン I 定量	0.026以下	ng/mL	心筋梗塞などで高値となります。

血液検査説明書

報告書検査名	日本語名	基準値(成人)	単位	検査内容説明	
血算	白血球、赤血球、ヘモグロビン濃度、血小板の数などを検査します。				
白血球	白血球数	3.3~8.6	$\times 10^3/\mu\text{L}$	白血球はおもに感染から体を防御する働きをします。一般には炎症で増加します。	
赤血球	赤血球数	男性 4.35~5.55 女性 3.86~4.92	$\times 10^6/\mu\text{L}$	赤血球はおもに酸素を肺から組織に送る働きをします。減少すると貧血になります。	
血色素	ヘモグロビン(血色素)濃度	男性 13.7~16.8 女性 11.6~14.8	g/dL	ヘモグロビンの濃度を調べます。減少すると貧血になります。	
Hct	ヘマトクリット	男性 40.7~50.1 女性 35.1~44.4	%	赤血球の占める割合を示します。	
MCV	平均赤血球容積	83.6~98.2	fL	赤血球1個の平均容積で貧血の分類をする時に用います。	
MCH	平均赤血球ヘモグロビン量	27.5~33.2	pg	赤血球1個に含まれるヘモグロビンの量で貧血の分類をする時に用います。	
MCHC	平均赤血球ヘモグロビン濃度	31.7~35.3	g/dL	赤血球1個に含まれるヘモグロビンの濃度で貧血の分類をする時に用います。	
RDW	赤血球容積分布幅	11.6~14.0	%	赤血球の大きさのバラツキがわかります。	
Plt	血小板数	158~348	$\times 10^3/\mu\text{L}$	血小板は出血を止める働きをします。減少すると出血しやすくなります。	
血液像	白血球の分類をし、それぞれの細胞の割合(%)を検査します。				
骨髄球		0	%	重度の感染症で出現することがあります。	
後骨髄球		0			
好中球		2~8		病原体を処理して感染から体を防御します。炎症で増加し、減少すると感染症にかかりやすくなります。	
桿状核球		45~60			
分葉核球		0~10		アレルギー性疾患や寄生虫感染などで増加します。	
好塩基球		0~5		血液疾患(慢性骨髄性白血病など)で増加します。	
単球		2~8		結核・亜急性心内膜炎・好中球減少症の回復期で増加します。	
リンパ球		25~45		一般的にウイルス性疾患で増加します。	
異型リンパ球		0		ウイルス性疾患で出現することがあります。	
赤芽球		0		/100白血球	赤血球の未成熟な細胞です。重度の貧血で出現することがあります。
総リンパ球数		総リンパ球数			
網赤血球	網赤血球	8~22	%o	赤血球を作る能力を調べる検査です。	
血沈30分	赤血球沈降速度	男性 10以下 女性 15以下	mm	赤血球の沈降する速度を一定時間ごとに検査します。(基準値は血沈60分しかありません。)	
血沈60分					
血沈120分					

報告書検査名	日本語名	基準値(成人)	単位	検査内容説明
PT-秒	プロトロンビン時間			PTとAPTTは血液凝固に関与する因子について総合的に評価する検査です。秒数が多くなると%は低くなり出血しやすくなります。PTは抗凝血薬の効果を判断するためにも検査されます。
PT-%		70以上	%	
PT-INR		1.0		
APTT-秒	活性化部分トロンボプラスチン時間	24.0～39.0	秒	
Fib	フィブリノーゲン	200～400	mg/dL	フィブリノーゲンの量を検査します。減少すると、出血しやすくなります。
出血時間	出血時間	1-5分	分秒	血小板数が減少したり、血小板の機能に異常があると長くなります。
FDP	フィブリン分解産物	10.0未満	μg/mL	DIC(播種性血管内凝固症候群)、血栓症で増加します。
Dダイマー	Dダイマー	1.0未満	μg/mL	DIC(播種性血管内凝固症候群)、血栓症で増加します。

一般検査(尿検査)説明書

報告書検査名	日本語名	基準値(成人)	単位	検査内容説明
尿定性	腎・尿路系の疾患や糖尿病・肝機能障害・その他多くの疾患の早期発見・経過観察に役立ちます。			
糖	尿糖	(-)		糖尿病などで血糖値が高いと尿糖が出現します。しかしまれに腎臓の機能異常で血糖値が高くなくても出現することがあります。
蛋白	尿蛋白	(-)		尿中の蛋白質のことです。腎臓や尿路などの異常を調べます。
ケトン体	尿ケトン体	(-)		糖代謝がうまく機能しないと脂肪や筋肉を分解しエネルギーにします。その時にケトン体が増えて尿中に排泄されます。
ビリルビン	尿ビリルビン	(-)		肝障害や胆道障害などで胆汁の排泄が妨げられるとビリルビンが尿中に排泄されます。
潜血	尿潜血	(-)		尿中に赤血球が混じっているか調べます。腎臓・尿管・膀胱などの炎症・結石・腫瘍などの発見の手がかりになります。
ウロビリ	尿ウロビリノーゲン	NORMAL		肝臓と胆道系異常の診断に有用です。
比重	尿比重	1.005～1.030		腎臓における尿の濃縮・希釈力の指標となります。
ph	尿pH	5.0～7.5		尿が酸性かアルカリ性かを調べます。
白血球反応	尿白血球反応	(-)		尿中の白血球の有無を調べます。
亜硝酸反応	尿亜硝酸反応	(-)		尿路の細菌感染の有無を調べます。
尿沈渣	尿沈渣			尿に含まれる赤血球・白血球・細胞・細菌・円柱・結晶などを顕微鏡で検査して腎臓から尿道までの異常を調べます。
尿HCG定性	尿中ヒト絨毛性ゴナドトロピン定性	(-)非妊娠時		尿中のヒト絨毛性ゴナドトロピンを検出して妊娠の早期診断などに役立っています。(妊娠反応検査)